

めんこいテレビ

岩手県盛岡出身の新渡戸稲造(1862-1933)。
アメリカ滞在中の1899(明治33)年、
「武士道」を書き始める。
執筆中の稲造に日本の大臣から手紙が届く。
「台湾に行ってほしい」と。

1900年、アメリカで「武士道」を出版した稲造(37歳)は、
台湾行きを決断・・・

後に国際連盟事務次長を務め、日本で初めての国際的偉人となる稲造。
彼の人生は「台湾の砂糖」によって大きく飛躍した。武士道を胸に台湾で
奔走し、サトウキビ生産、製糖業の近代化の道筋をつけ、
台湾の経済発展の礎を築いた。



それから約100年、俳優の城戸裕次(きどゆうじ・37歳)が、
初めて台湾の土地にやってきた。
城戸は、稲造が学長を務めた拓殖大学の出身。

台湾を北から南へと縦断。
今では消滅しつつあるサトウキビ畑や、稲造が残した研究所などを訪ね、
稲造と台湾が今も深くつながっていることを知る。

稲造の台湾へのあたたかいまなざし、台湾人が日本人に見せる優しさの
本当の意味を知る旅。



**砂糖が結んだ日本と台湾の縁。
100年の時を超え、今もつながっている・・・**

新渡戸稲造の台湾

～スーツを着たサムライ 2015～

岩手めんこいテレビ 8月7日(金)19:00～19:57

BSフジ 8月22日(土)14:00～14:55